

薄膜材料デバイス研究会第13回研究集会

H28会自11

開催日 平成28年10月21日～平成28年10月22日(2日間)

開催地 龍谷大学 響都ホール校友会館

申請者 薄膜材料デバイス研究会組織委員会

助成金担当 川原村敏幸

会議の概要と成果

薄膜材料デバイス研究会第13回研究集会を、2016年10月21日(金)～10月22日(土)の日程で、龍谷大学響都ホール校友会館で開催した。今回の研究集会は「スマート社会を支える薄膜デバイス」をテーマとし、薄膜材料デバイスの基礎から応用まで、幅広い研究分野と機関からの参加者を集めて議論した。スマートフォンや大型テレビが普及する中、液晶や薄膜トランジスタなど、薄膜材料デバイスがそれらの製品に必要不可欠であることを再認識し、現在の研究が次世代のエレクトロニクスにどのように貢献できるかを意識しつつ議論する場を提供したいという思いで設定したテーマである。今回は137名の参加者を集めることができた。

招待講演として7名の先生方にご講演いただいた。チュートリアルでは、科学論文誌の現況／英語論文の執筆についてと、量子ドットの光化学についての2件の講演が行われた。それぞれ、北陸先端科学技術大学院大学の堀田将先生と奈良先端科学技術大学院大学の野々口斐之先生にご講演いただいた。初日の招待講演では、MOS界面欠陥の評価と有機半導体材料の開発について、それぞれ島根大学の土屋敏章先生と理化学研究所の瀧宮和男先生からご講演をいただいた。ランプセッションでは

無欠陥LCDの研究について東京農工大学名誉教授の小林駿介先生からご講演をいただいた。二日目の招待講演では、酸化物半導体TFTを用いた次世代ディスプレイとオール無機材料によるペロブスカイト太陽電池について、それぞれシャープ株式会社の上田直樹様と兵庫県立大学の伊藤省吾先生よりご講演いただいた。

一般講演としては、今回は46件の発表があった(内34件はポスター発表)。口頭発表、ポスター発表ともに活発な議論が相次ぎ、特に分野を越えた研究者間の議論が目立った。本研究会の目的の一つである、研究者間の互いの研究交流を図ることができた。一般講演の中から、特に優れた発表に対して、ベストペーパーアワード1件とスチューデントアワード2件が選ばれた。

本研究会では2年前に研究会フェロー表彰を導入した。今回の研究集会では、北陸先端科学技術大学院大学の堀田将先生に研究会フェロー表彰が授与された。堀田先生は、薄膜材料デバイスの顕著な業績があり、本研究会の立ち上げから第12回研究集会まで委員を務められ研究会に多大な貢献をされた。

尚、今回の研究集会では、公益財団法人村田学術振興財団からの助成金と、13社の協賛企業からのご協力があった。この場をもってお礼申し上げたい。